

令和7年度 北アルプス北部山城連絡会総会 次第

開催日：令和8年3月23日(月)

時 間：午後1時30分から

会 場：小谷村役場 201 会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 令和7年度北アルプス北部山城連絡会決算報告〈資料1〉

4 報告事項

(1) 北アルプス北部山城の将来像について〈資料2〉

(2) 北アルプストレイルプログラムの広報について〈資料3〉

5 閉会

	所 属	役 職	氏 名	備考	出欠
市 村	大町市地域振興部観光文化課	課長	宮坂 充明	副会長	
	大町市地域振興部観光文化課	観光企画係長	丸山 優一		
	大町市民生部生活環境課	課長	北澤 好康		欠席
	白馬村観光課	課長	山岸 大祐	副会長	欠席
	白馬村観光課	主幹	松澤 宏和		
	白馬村住民課	課長	堤 則昭		
	小谷村役場住民福祉課	課長	鷺澤 美幸		欠席
	小谷村役場観光地域振興課	課長	太田 勝	会長	
	小谷村役場観光地域振興課	観光商工係長	宮嶋 喜久	事務局	
	小谷村役場観光地域振興課	観光商工係	細井 宏紀	事務局	
	糸魚川市産業部商工観光課	課長	山崎 和俊	監事	欠席
	糸魚川市産業部商工観光課	係長	石崎 健一		オンライン
	糸魚川市産業部商工観光課	主事	石塚 光		オンライン
山 岳 関 係	北アルプス北部山小屋組合 (株式会社白馬館)	組合長 (代表取締役)	松沢 貞一		
	北アルプス北部山小屋組合 (株式会社白馬館)	(取締役)	松沢 英志郎		
	北アルプス北部山小屋組合 (株式会社白馬館)	(現場統括部長)	松沢 忠明		
	北アルプス北部地区 山岳遭難防止対策協会	事務局補佐	石岡 優士		欠席
	大町登山案内人組合	組合長	遠山 充	監事	
	白馬山案内人組合	組合長	松澤 幸靖		森工
	小谷村山案内人組合	組合長	水谷 雅三		
国	環境省中部山岳国立公園 管理事務所	専門員	仁田 晃司		
	環境省戸隠自然保護官事務所	自然保護官	秋本 紘子		
	林野庁中信森林管理署 白馬森林事務所	首席森林官	岡本 守		
	林野庁中信森林管理署	森林技術指導官	百瀬 厚		
県	長野県環境部自然保護課	課長補佐兼係長	本藤 美歩		
	北アルプス地域振興局 総務管理・環境課	専門幹兼担当係長	北澤 治樹		欠席
	北アルプス地域振興局 商工観光課	技師	大野 翔太郎		オンライン

資料1

令和7年度北アルプス北部山域連絡会トレイルプログラム決算書

収入

単位：円

科目	本年度予算	本年度決算	差引	説明
協力金	1,000,000	372,422	△ 627,578	詳細は別紙のとおり。
貯金利息	0	46	46	
合計	1,000,000	372,468	△ 627,532	(一般寄付4,175円は3/25入金予定)

支出

単位：円

科目	本年度予算	本年度決算	差引	説明
事業費	950,000	0	△ 950,000	令和7年度は協力金の集金のみとする。
事務費	50,000	0	△ 50,000	
合計	1,000,000	0	△ 1,000,000	

差引残高 (繰越額)	372,468
---------------	---------

令和7年度会計監査報告

令和8年3月19日に令和7年度会計に関する帳簿、証拠書類、普通預金通帳等関係書類について監査したところ、いずれも記載状況良好であり、適正に処理されたものと認める。

令和8年3月19日

会計監査

大町登山案内人組合
組合長 遠山 亮



会計監査

糸魚川市商工観光課長
山崎 和俊



トレイルプログラム協力金収入一覧

2026. 3. 11 現在

番号	施設名	所属	代表者	金額
1	風吹荘	小谷村 小谷村長	小谷村長	1,830
2	梅池山荘	小谷村 小谷村長	小谷村長	5,863
3	烏帽子小屋	烏帽子小屋	上條文吾	3,560
4	晴嵐荘	晴嵐荘	竹村正之	32,010
5	種池山荘	(有) 鹿島槍観光開発	柏原一正	33,319
6	冷池山荘	〃	〃	28,850
7	新越山荘	〃	〃	0
8	白馬山荘	(株) 白馬館	松沢貞一	12,730
9	五竜山荘	〃	〃	44,566
10	白馬大池山荘	〃	〃	11,731
11	梅池ヒュッテ	〃	〃	2,301
12	鑓温泉小屋	〃	〃	1,091
13	キレット小屋	〃	〃	0
14	猿倉荘	〃	〃	46,818
15	唐松岳頂上山荘	(株) からまつ	下川千嘉子	43,347
16	村営頂上宿舎	(一財) 白馬村振興公社	丸山俊郎	10,634
17	天狗山荘	〃	〃	3,710
18	八方池山荘	〃	〃	6,898
19	餓鬼岳小屋	餓鬼岳小屋	伊東瑛子	16,412
20	針ノ木小屋	針ノ木小屋	百瀬堯	11,070
21	蓮華温泉ロッジ	蓮華温泉ロッジ	田原伸男	14,320
22	野口五郎小屋	野口五郎小屋	上條盛親	2,700
23	水晶小屋	三俣山荘 (株)	伊藤敦子	28,162
24	湯又山荘	〃	〃	10,000
25	船窪小屋	(有) ベルグハウス	松澤宗志	500
				372,422

クレジットカードによる一般寄付(寄付人数2名、寄付金額4,175円)ありましたが、3月25日入金となるため次年度報告となります。

資料2

「北アルプス北部山城」の将来像

北アルプス北部山城連絡会

1 はじめに

北アルプス北部山城は、爺ヶ岳を境として南側と北側、雨飾山等の東側では地形や植生など山岳特性が異なっていることから、それぞれに応じた登山道を持続的に維持管理していくため、「山岳の環境保全と適正利用の方針」（令和4年2月 長野県策定）に基づき、山城の将来像（山城の特性を踏まえた山岳の利用のあるべき姿）を山岳関係者である「北アルプス北部山城連絡会」で定める。

2 山城の将来像共有のための特性の整理

区分	特性		
	エリアA(爺ヶ岳以北)	エリアB(爺ヶ岳以南から権ヶ岳)	エリアC(雨飾山山城)
エリア	ロープウェイ等を利用してレッキングとして楽しめる初心者向け遊歩道から、装備、知識を要する上級者向け登山道、縦走路までコース多数。	コースが長く連泊登山が中心の上級者向け。	妙高戸隠連山国立公園で、雨飾山、金山、天狗原山等2000m級の山々からなるエリアである。山小屋が無いいため、日帰り登山となるが、距離が長いため体力レベルが高い山。
地形・地質	地質は、古生界のオリストローム、蛇紋岩、珪長岩、更新等の火山岩類からなる。この地域の地質は多様である。	主に花崗岩類からなる。	北部フォッサマグナの隆起山地の一部で、天狗原山は雨飾山と同様の前期更新世の閃緑斑岩からなる残丘状の山である。また金山には中期更新世の安山岩質火山岩類が分布するが、もとの火山地形は侵食作用により失われている。
危険箇所	別紙：危険箇所一覧（令和5年作成）参照		
植生・自然	北部の白馬岳付近は大量の降雪のため、亜高山帯針葉樹林は貧弱である。代わりに低木化したミズナラ（ミヤマナラ）やダケカンバなどの偽高山帯と呼ばれる植生が見られる。冬の積雪が多いため、森林限界は下がって、2,000m程となっている。その森林限界では、ハイマツが見られる。白馬岳のお花畑は有名である。	比較的雪の少ない南部では亜高山帯針葉樹林がよく発達し、花崗岩の風化土で覆われているため、コマクサの群落が有名である。	この地域一帯はブナやダケカンバの樹林帯であり、巨木も見られる。冬期は降雪の多さに加え、日本海側からの強い季節風により、天狗原山から金山にかけての風背地斜面や凹状地に多量の雪が溜まりやすい。その様な場所は雪解けが遅れるため、比較的遅い時期までお花畑が楽しめる山城になっている。ハクサンフウロ・チングルマ・ニッコウキスゲなど多くの花が咲き、特にハクサンコザクラの群生が素晴らしい。
気候	夏は冷涼、冬は寒冷で大量の降雪がある「特別豪雪地帯」であるため、スキーを軸とした観光業が盛んである。		
登山形態	ハイキングコースから残雪期の山スキーコース等、初心者から上級者まで楽しめる。特に五竜岳から白馬の主稜線は険しく、不帰の剣やキレット等と呼ばれる上級者コースである。	蓮華岳から烏帽子コースは道が荒れていたり、切れ落ちていたり、コースが長いことから上級者向きであり、日帰り登山は無理である。	いずれもコース距離が長く、アップダウンもあるのので、体力を必要とする。山小屋がなく、日帰り登山となるため、行動時間に余裕を持つ必要がある。縦走する場合は上級者コースである。

その他	日本三大雪渓の白馬大雪渓ルート、ロープウェイが設置されていて手軽に楽しめる梅池、八方尾根、五竜遠見が人気のコースである。	針ノ木雪渓ルートや爺ヶ岳ルートは人気のコースである。	ブナの樹林に始まり各所に広がるお花畑の景色が疲れを癒す。また、白馬連峰や火打山、焼山、さらには日本海など360度の展望を楽しむことができるのも魅力のひとつ。
-----	--	----------------------------	--

3 北アルプス北部のゾーニングと利用の想定

(1) 信州山のグレーディング

ルート名称	体力度 レベル	難易度 レベル	標高(m)		ルート長 (km)
			スタート地点	最高地点	
金山 (金山登山口)	3	C	1,230	2,245	10.3
雨飾山 (大網登山口)	3	C	920	1,963	8.6
雨飾山 (小谷温泉)	3	C	1,150	1,963	8
小蓮華岳 (梅池)	4	B	1,842	2,766	13.3
風吹岳 (風吹登山口)	3	B	1,090	1,888	6.9
白馬大池 (梅池)	3	B	1,842	2,469	7.9
白馬乗鞍岳 (梅池)	2	B	1,842	2,469	5.7
縦 不掃キレット (猿倉・八方池山荘)	6	D	1,242	2,696	18.5
縦 裏銀座 (高瀬ダム・上高地)	10	C	1,271	3,180	113.1
白馬岳 (梅池)	5	B	1,842	2,932	42.8
蓮華岳 (扇沢)	4	B	1,418	2,799	38.4
唐松岳 (八方池山荘)	3	B	1,837	2,700	5.3
縦 白馬→朝日 (猿倉・蓮華温泉)	8	C	1,400	2,932	29
五竜岳 (アルプス平駅)	5	C	1,479	2,057	17.6
白馬岳 (猿倉)	4	C	1,250	2,932	6.3
縦 八峰キレット (アルプス平駅・太谷原)	7	D	1,479	1,070	20
烏帽子岳 (地藏峠)	2	A	1,732	2,066	8.2
烏帽子岳 (高瀬ダム) <ブナ立尾根>	4	C	1,271	2,628	12.1
餓鬼岳 (白沢登山口)	5	C	994	2,647	11
縦 鹿島・爺 (大谷原・扇沢)	6	C	1,084	2,889	19.8
鹿島槍ヶ岳 (大谷原)	6	C	1,084	2,889	18.4
鹿島槍ヶ岳 (扇沢)	6	B	1,338	2,889	21.2
爺ヶ岳 (扇沢)	4	B	1,338	2,670	12.3
針ノ木岳 (扇沢)	4	B	1,418	2,821	12.3
舟窪岳 (七倉)	6	B	1,064	2,459	13.8
真砂岳 (高瀬ダム) <湯俣>	7	B	1,271	2,924	32
蓮華岳 (扇沢)	4	B	1,418	2,799	13.5

「体力度レベル」「難易度レベル」() <>については別添資料「信州山のグレーディング」参照

(2) 登山ルート

登山口名称	概要
金山（金山登山口）	小谷温泉上の雨飾荘から林道妙高小谷線を進むと登山口がある。林道は通行止めの場合もあるので、要確認。標識は少ないものの、登山道は歩きやすい。ただし、雪の残る時期は、迷いやすいので注意。装備と経験を要する。
雨飾山（大網登山口）	大網笹野地区から林道姫川妙高線を車で20分ほど進むと登山口がある。林道は通行止めの場合もあるので、要確認。前半はブナ林の中をゆったり歩き、尾根へと繋がる。やせ尾根から岩稜帯の急登を上がると、北峰頂上に着く。
雨飾山（小谷温泉）	雨飾高原キャンプ場が登山口となる。最初の800mは平らだが、その後笹平まで急登が続く。荒菅沢は例年7月まで残雪があるので装備と経験を要するが、変化に富んだコースが楽しめる。ブナ林が美しく、頂上からの展望が素晴らしい。
白馬岳（梅池）	起点となる梅池自然園へは、ゴンドラリフトとロープウェイを乗り継いでアクセスする。自然園内は遊歩道として散策も可能。登山口より上部は登山道であり、装備と経験を要する。
小蓮華岳（梅池）	白馬岳と白馬乗鞍岳の間中にあり、白馬大池から小蓮華山へと続く雷鳥坂は、北に朝日岳や雪倉山を眺めながら雲上の稜線歩きを楽しめる。起点となる梅池自然園へは、ゴンドラリフトとロープウェイを乗り継いでアクセスする。自然園内は遊歩道として散策も可能。登山口より上部は登山道であり、装備と経験を要する。
風吹岳（風吹登山口）	風吹岳は、山麓に北アルプス最大の池と言われる、風吹大池がある。大池の周囲は、湿原が広がるほか、いくつかの衛星湖があり、春～夏はミズバショウやニッコウキスゲ、秋は10月上旬頃から始まる紅葉が楽しめる。登山口より上部は登山道であり、装備と経験を要する。
白馬大池（梅池）	白馬大池は自然園から片道約3時間30分の標高2,380mにある雲上の楽園として知られ、北アルプスの中で風吹大池に次ぐ1周約2kmの大きな池です。起点となる梅池自然園へは、ゴンドラリフトとロープウェイを乗り継いでアクセスする。自然園内は遊歩道として散策も可能。登山口より上部は登山道であり、装備と経験を要する。
白馬乗鞍岳（梅池）	起点となる梅池自然園へは、ゴンドラリフトとロープウェイを乗り継いでアクセスする。自然園内は遊歩道として散策も可能。登山口より上部は登山道であり、装備と経験を要する。
白馬岳（猿倉登山口）	猿倉登山口から大雪溪下部の白馬尻小屋までは遊歩道としてハイキング等の散策も可能。大雪溪より上部は登山道であり、装備と経験を要する。
唐松岳（八方池山荘）	八方池までは木道が整備されており、遊歩道としてハイキング等の散策が可能。八方池より上部は登山道であり、装備と経験を要する。
五竜岳（アルプス平駅）	小遠見山までは遊歩道として整備されており、ハイキング等の散策が可能。小遠見山より上部は痩せ尾根が続く登山道であり鎖場もあることから装備と経験を要する。

大谷原登山口（赤岩尾根 鹿島槍ヶ岳方面）	大谷原から西俣出合まで徒歩約1時間平坦な道。大型バスは夏山登山シーズン時駐車場付近で回れるスペースがないため鹿島槍スキー場への分岐付近で下車。
扇沢出合登山口（柏原新道 爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳方面他）	旧盆や連休時にはアルペンラインや扇沢駐車場が大変混みあい、駐車場が満車になる場合がある。
扇沢駅登山口（針ノ木雪渓 針ノ木岳方面、蓮華岳方面）	関電トロリーバス扇沢駅駅舎に向って左にある作業用車両ゲート付近が出発点。（林間散策路と舗装路がある）
白沢 白沢登山口（餓鬼岳方面）	国営アルプスあづみの公園大町・松川地区のゲート前からさらに上がり、コングランド（モトクロス場）を過ぎ程上がったところが登山口。
七倉ダム 七倉登山口（船窪小屋方面）	東京電力管理用道路のゲートをくぐり、トンネルの手前を右に入っていくと登山口。
七倉～高瀬ダム～濁沢登山口（ブナ立尾根 烏帽子岳方面）	七倉ゲートからは東京電力高瀬川発電所の管理用道路となり、許可を受けたタクシーに乗り換え。
七倉～高瀬ダム 湯俣登山口（竹村新道 水晶小屋方面、野口五郎小屋方面）	高瀬ダムから湯俣温泉まで徒歩約2時間30分ほど平坦な道。湯俣温泉晴嵐荘の裏が登山口。

(3) 利用の想定

エリアA、Bにおいては、ロープウェイ等を利用し整備された遊歩道や木道を散策する初心者や一般観光客と、連泊を要する縦走登山や標高差があり難所や険しいルートを通ることからを装備や知識を要する登山上級者の2者を想定。

エリアCにおいては、2,000m級の山々で日帰り登山が基本であるため、シニア層の利用者が多い。ツアー登山等で登る初心者から上級者までレベルは様々である。近年では、トレイルランの練習で利用している者も多い。

4 登山道等の整備方針北アルプストレイルプログラムへの参画

登山を楽しむために誰もが歩く登山道、今後も登山道を維持しながら将来につないでいくプログラムとしてトレイルプログラムに参加することとしてトレイル部会を設けて取り組みを始めた。北アルプス北部山小屋組合に事務局を担当してもらい協力金の収受をはじめ登山道維持に関わる事業を計画して対応する。

5 維持管理体制トレイル部会の役割

当地域は公金の投入率が高く、協力金の収受により公金が投入されていない登山道を抽出してトレイルプログラムの整備対象とする検討や協力金の会計報告を担うこととする。

6 利用のルール

山岳高原の豊かな自然環境や整備した遊歩道（登山道）の持続的な維持管理など、山岳環境全体が将来にわたり良好な状態が保たれるよう、また、登山者が快適に利用できるようにするために必要な基本的ルールを方針のとおり定める。

また、安全登山のアドバイスとして、パンフレット等を活用して登山者に普及啓発を行っていく。

○自然環境の保全のために

- ・動植物や鉱石などは持ち帰らない。
- ・登山道以外へは立ち入らない。
- ・野生動物に餌を与えない。
- ・登山靴の泥落や衣服に付着した種子を払ってから入山する。
- ・ごみは自宅まで持ち帰り、各家庭で処分する。
- ・登山用ストックを使用する場合は、先端部に保護キャップを付ける。
- ・ペットは同伴しない。

○ほかの利用者とともに快適な登山を行うために

- ・自然保護レンジャー、自然保護官、森林官等の指導・指示を遵守する。
- ・指定地以外でのキャンプは行わない。
- ・指定場所外では喫煙しない。
- ・ドローン等リモコン操作による無人航空機を使用する際は、以下の点に注意する。

① 航空法に基づく無人航空機のルールを遵守すること。

② 国立公園内においては、飛行区域を担当している国立公園管理官事務所・自然保護官事務所等に問合せをし、ルールやマナーを確認する。

③ ライチョウの姿がなど希少な野生動物が近くに確認された場合は飛行しない。

④ 他の利用者や施設に迷惑を及ぼすような飛行はしない。

⑤ 物資輸送や救急救助等のヘリコプターの飛行音が聞こえた際は飛行しない運行に支障がないようにする。

・~~登山時は、登り優先で他社を気遣う。~~

・山岳施設は、施設管理者の指示に従い、丁寧な利用を心がける。

危険箇所一覧(令和7年更新)

報告時期	市町村	山域名	エリア	路線番号	路線名	施設種別	施設種類	備考	変更・追加理由
R5	白馬村	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	A	51	後立山連峰縦走線 船嶮I峰～II峰	歩道施設	銀補強	鎖等の老朽化の為交換必要	
R5	白馬村	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	A	52	遠見尾根線	歩道施設	登山道状況	雨水による侵食と通地帯、梯子設置	
R5	白馬村	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	A	54	黒委唐松岳線	歩道施設	歩道施設	唐松山荘手前巻道ルート	冬道利用のため巻道は利用していないので削除。
R5	白馬村	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	A		鍾温泉大出原線	歩道施設	歩道施設	老朽	
R5	大町市	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	B	32	鐘鬼岳燕岳線	歩道施設	梯子・棧橋	老朽化	
R5	大町市	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	B	3	後立山連峰縦走線	登山道状況	登山道状況	北葛岳～七倉岳崩落箇所あり	
R5	大町市	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	B	3	後立山連峰縦走線	歩道施設	標識	蓮華岳、北葛岳、針ノ木岳	崩落ありと記載があるが箇所不明。 設置により削除
R5	大町市	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	B	28	扇沢種池線	歩道施設	階段・歩道	劣化による損傷	山小屋で補修対応済みのため削除
R5	大町市	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	B		大谷原冷池線	歩道施設	階段・歩道	劣化による損傷	山小屋で補修対応済みのため削除
R5	大町市	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	B		船窪新道	歩道施設	階段・歩道	劣化による損傷	
R5	大町市	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	B	24	高瀬烏帽子岳線	歩道施設	階段・歩道	劣化による損傷	R7追加分と重複のため削除。
R5	大町市	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	B	24	高瀬烏帽子岳線	歩道施設	標識	登山道入口	設置により削除
R5	大町市	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	B	69	湯俣真砂岳線	登山道状況	登山道状況	湯俣岳～真砂岳崩落箇所あり	山小屋からの聞き取りにより、現在危険性は確認されていないため削除。
R5	大町市	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	B		伊藤新道	歩道施設	棧道	第一吊橋付近の棧道設置	吊り橋等構造物・工作物については全て撤去
R5	大町市	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	B		宮田新道	登山道状況	登山道状況	損傷箇所多数	一般利用に供していないため削除。(通行者いない)
R7	大町市	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	B	31	高瀬烏帽子岳線	登山道状況	登山道状況	ブナ立尾根登山道入口(湯沢) 雨天時に地面が液状化。水位上昇により簡易的な橋(木橋)の流出あり	
R7	大町市	中郡山岳国立公園 北アルプス北地域	B	3	後立山連峰縦走線	登山道状況	登山道状況	南沢岳～船窪岳間大崩落地。	

北アルプス北部山域整備計画

危険箇所等の早期対応並びに山域内の登山道、標識等の施設において改修、修繕が必要なものについて順次対応するものとする。

但し、雨飾山山域については、妙高戸隠連山国立公園連絡協議会における検討に則って整備を進めるものとする。

エリアA(爺ヶ岳以北)及びエリアC(雨飾山山域) 要整備箇所(小谷村)

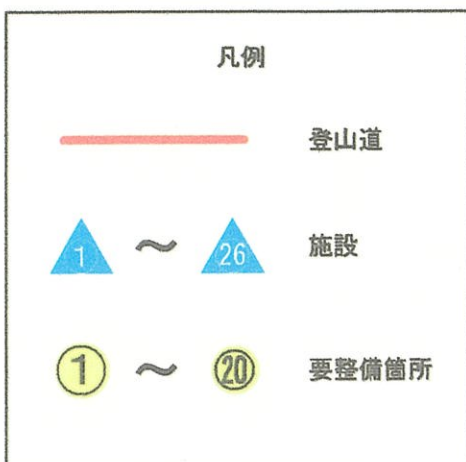
	登山道・施設 名称	状況	種別	整備年度
1	梅池自然園～天狗原ルート	階段及び木道の老朽化	登山道	R2～
2	風吹岳～天狗原 千国場ルート	木階段及び木道の損傷	登山道	H29～
3	雨飾山登山道小谷温泉ルート	階段及び木道の老朽化	登山道・設備	R2～
4	風吹岳北野ルート	木階段及び木道の損傷	登山道	H29～
5	風吹天狗原他風吹大池周辺	木階段及び木道の損傷	登山道	H30～
6	風吹大池～蓮華温泉ルート	草刈り及びぬかるみ対策	登山道	R4～

エリアA(爺ヶ岳以北) 要整備箇所(白馬村)

	登山道・施設 名称	状況	種別	整備年度
7	遠見尾根登山道	痩せ尾根の崩落、木階段の損傷	登山道	H27～
8	後立山縦走路全般	標識の損傷	標 識	H30～
9	大雪渓ルート	葱平上部木階段、箆階段の損傷	登山道	H30～
10	不帰嶮 I 峰～II 峰	老朽化の鎖交換	登山道	R5～
11	遠見尾根登山道	階段、湿地帯の歩道確保	登山道	R5～
12	八方尾根	唐松山荘手前巻道ルートの復活	登山道	R5～
13	八方尾根	登山道入り口木道の腐食	登山道	R6～
14	鏡温泉上部	路肩崩落、階段損傷	登山道	R5～

エリアB(爺ヶ岳以南から槍ヶ岳) 要整備箇所(大町市)

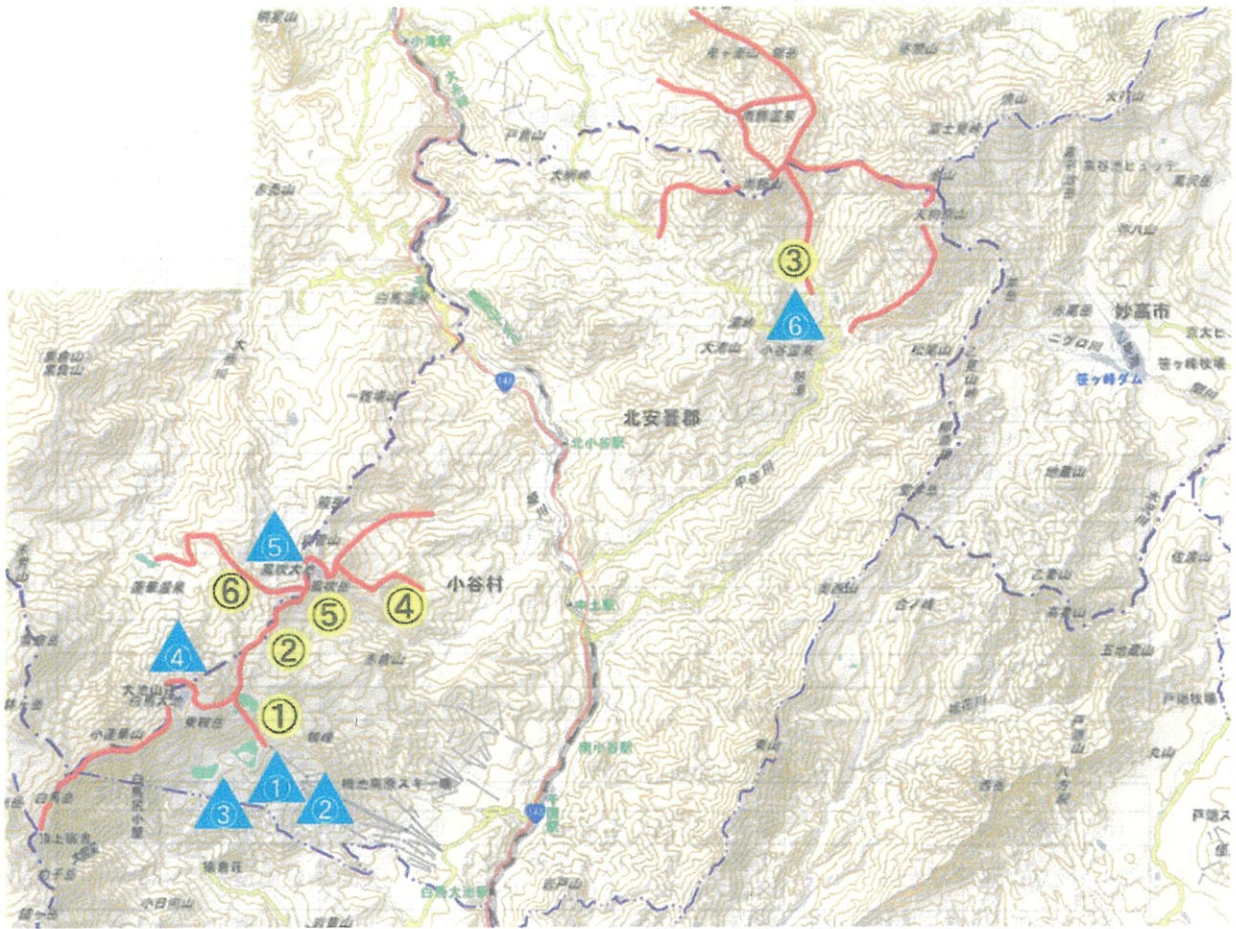
	登山道・施設 名称	状況	種別	整備年度
15	餓鬼岳燕岳線	梯子・棧橋の老朽化、樹木・笹の繁茂	登山道	H29～
16	後立山連峰縦走路	北葛岳～七倉岳崩落箇所あり 標識の破損(蓮華岳、北葛岳)	登山道	R5～
17	大谷原冷池線・扇沢種池線	階段・歩道損傷	登山道	R5～
18	扇沢針ノ木峠線	階段・歩道損傷	登山道	R5～
19	船窪新道	階段・歩道損傷 船窪岳・船窪第2ピークの標柱損傷	登山道	R4～
20	高瀬烏帽子岳線	階段・歩道損傷 登山道口の標柱損傷	登山道	R5～
21	湯俣真砂岳線	湯俣岳～真砂岳崩落箇所あり 樹木・笹の繁茂	登山道	R5～
22	伊藤新道	第一吊橋～第三吊橋まで架橋済 第一吊橋付近の棧道の設置を予定	登山道	R5～
23	宮田新道	吊橋損傷を始め損傷箇所多数	登山道	未定



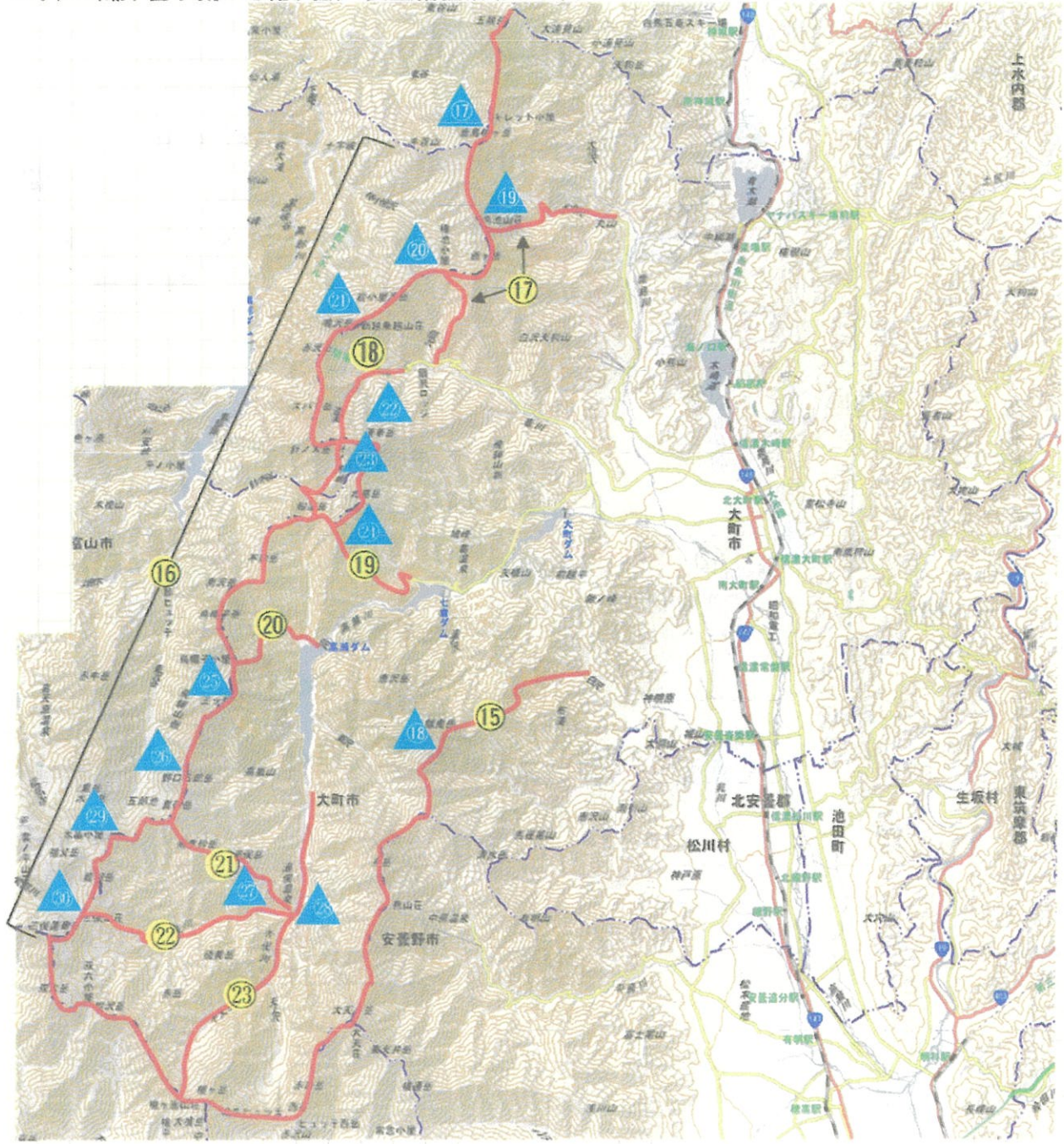
施設名称

① 梅池山荘	⑩ 五竜山荘
② 梅池ヒュッテ	⑪ キレット小屋
③ 梅池ビジターセンター	⑫ 餓鬼岳小屋
④ 白馬大池山荘	⑬ 冷池山荘
⑤ 風吹山荘	⑭ 種池山荘
⑥ 雨飾高原キャンプ場	⑮ 新越山荘
⑦ 猿倉荘	⑯ 大沢小屋
⑧ 白馬尻小屋	⑰ 針ノ木小屋
⑨ 白馬岳小雪渓避難小屋	⑱ 船窪小屋
⑩ 白馬岳頂上宿舎	⑲ 烏帽子小屋
⑪ 白馬山荘	⑳ 野口五郎小屋
⑫ 白馬鏡温泉小屋	㉑ 晴嵐荘
⑬ 村営天狗山荘	㉒ 湯俣山荘
⑭ 唐松岳頂上山荘	㉓ 水晶小屋
⑮ 八方池山荘	㉔ 三俣山荘

エリアA(爺ヶ岳以北)及びエリアC(雨飾山山域) 要整備箇所(小谷村)



エリアB(爺ヶ岳以南から槍ヶ岳) 要整備箇所(大町市)



資料3



いま、登山道が**危機**に瀕しています

あなたの**ワンコイン**が 北アルプスの登山道を守る

北アルプスの登山利用環境を、未来の登山者に受け継いでいくために、皆さまからのご協力をお願いします。

詳しくはこちら

登山維持協力金の使い道



登山道の維持

北アルプスには複数かつ長距離の登山道が存在しています。

なかでも後立山連峰は南北に長いので、山小屋と山小屋間の距離が長くなっています。現在は登山道を維持していくための行政の支援、山案内人や山小屋により登山道が守られています。しかし、古くからの崩落箇所は拡大を続け人の手を拒む様相で姿を変え、稜線に至る雪圧で姿を変え毎年手を加えないと存続できません。

近年、自然災害による登山道への影響や作業人材の不足、施設の老朽化の進行等の様々な環境変化によりこれまでの体制による登山が難しくなっていることや周辺の生態系への影響が懸念されています。

今後も北アルプスの山域における登山利用を持続可能に維持できるように登山道の維持に関わる作業や登山道周辺の植生復元や土壌中心に協力金を活用させていただきます。

中部山岳国立公園

北アルプス トレイル プログラム

登山道維持に
協力しよう！



あなたの**協力金**が
北アルプスの登山道を守る！



詳細はこちら

北アルプス北部山域連絡会